

株式会社 データテック



代表取締役
田野 通保

東京都
大田区蒲田4-42-12

1983年(昭和58年)設立
Tel 03-5703-7041

<http://www.datatec.co.jp>

わが国初の ドライブレコーダを開発

ファームウェアの開発で培った技術力を生かして、わが国初のドライブレコーダを開発。2005年末までに25,000台を販売するなど、高い評価を得ている。

ニーズを先取りしていち早く製品化

ドライブレコーダとは、自動車の運転状況を記録する装置である。交通事故の原因究明や防止に利用され、自動車版フライトレコーダとも呼ばれている。もともとファームウェア（ハードウェアの基本的な制御を行うソフトウェア）の開発を手がけていた同社は、交通事故で生じる処理費用や補償などの負担に悩む企業のニーズを先取りして開発に着手し、1998年に「セーフティレコーダ」を完成させた。ドライブレコーダを製造するわが国で唯一の企業である。

複数のデータを正確に計測

開発において問題となったのは、車両の位置と向き、ハンドル、アクセル、ブレーキの操作状況といった複数のデータを正確に計測することだった。同社は、ファームウェア開発で培ったセンサー技術を生かし、全地球測位システム（GPS）と荷重の移動速度を測る加速度計、車体の向きおよび角速度（1秒当たりの回転数）を検出するジャイロセンサーを組み合わせることで問題を解決し、製品化に成功した。

独自開発のソフトで機能性を向上

「セーフティレコーダ」の機能は、運転状況の記録だけにとどまらない。同社は、独自開発したソフトにより、さまざまな運転データをわかりやすくグラフ化したり、「ブレーキ」「ハンドル」など五つの項目で安全運転度を採点したりする機能をもたせている。また、運送会社が日常業務に活用できるよう、GPSと地図データを連動させて一日の運行状況を把握する機能を加え、運行管理表や行き先日報なども自動で作成できるようにもしている。



セーフティレコーダ